

1. 件 名：日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和3年3月17日 13:30～16:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

芦田防災専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、宮地専門官、落防災専門官、平野室長補佐

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

保安管理部危機管理課課長 他4名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、令和3年3月26日に予定されている同法人原子力科学研究所の原子力事業者防災訓練計画に関して、資料1に基づき、前回面談を踏まえた計画の変更点の説明があった。

原子力規制庁より、主に以下を伝えた。

- ・ E A L の判断基準の見直しについては、施設（NSRR）の特徴を考慮し、当該 E A L の設定の考え方、参考となる実用発電用原子炉の E A L の設定の考え方と照らして、今回の見直しが適当であるか、再検討すること。

- ・ 訓練シナリオにおける E A L 該当事象の発生タイミングが、訓練実施計画に沿っているのか、訓練目的が検証可能なものであるか、再検討すること。

日本原子力研究開発機構から、指摘を踏まえて整理する旨の回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1「令和2年度 原子力科学研究所総合防災訓練フロー」